

科目名	診察学応用 4						年度	2026		
英語科目名	Applied Consultation and Examination 4						学期	後期		
学科・学年	鍼灸科 3年次		必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	笠井友和		教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】 おもな症状の診察法を理解する。										
【科目の概要】 おもな症状の診察法を理解し診察に用いることが出来るようにする。おもな症状の診察法の国家試験合格レベルを確認する。										
【到達目標】 A. 頭痛、顔面痛、歯痛、眼精疲労、鼻閉・鼻汁、発熱、のぼせ・冷え、不眠、疲労・倦怠の診察が出来るようになる。 B. めまい、耳鳴、難聴、息切れ、発疹の診察が出来るようになる。 C. 動悸、食欲不振、肥満、胸痛、やせ、ショックの診察が出来るようになる。 D. 腹痛、便秘、下痢、排尿障害、乏・無尿、多尿、月経異常、不正性器出血の診察が出来るようになる。 E. 浮腫、意識障害、胸水、悪心・嘔吐、口渇、嘔声、嚥下障害、血痰・咯血、出血傾向、易感染性、貧血の診察が出来るようになる。										
【授業の注意点】 「臨床医学総論」の教科書に則って授業を進行するが、生理学・解剖学・臨床医学各論などの履修済の学習内容が必要となるので復習確認を怠らぬようにすること。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	頭痛、顔面痛、歯痛、眼精疲労、鼻閉・鼻汁、発熱、のぼせ・冷え、不眠、疲労・倦怠の診察について理論的に理解し、記憶し、診察が出来る	頭痛、顔面痛、歯痛、眼精疲労、鼻閉・鼻汁、発熱、のぼせ・冷え、不眠、疲労・倦怠の診察の大部分を理論的に理解し、記憶し、診察が出来る	頭痛、顔面痛、歯痛、眼精疲労、鼻閉・鼻汁、発熱、のぼせ・冷え、不眠、疲労・倦怠の診察の一部を理論的に理解し、大部分を記憶し、診察が出来る	頭痛、顔面痛、歯痛、眼精疲労、鼻閉・鼻汁、発熱、のぼせ・冷え、不眠、疲労・倦怠の診察の理論的理解は不十分だが大部分を記憶し診察が出来る	頭痛、顔面痛、歯痛、眼精疲労、鼻閉・鼻汁、発熱、のぼせ・冷え、不眠、疲労・倦怠の診察の理論的理解も記憶も不十分で診察が出来ない					
到達目標 B	めまい、耳鳴、難聴、息切れ、発疹の診察について理論的に理解し、記憶し、診察が出来る	めまい、耳鳴、難聴、息切れ、発疹の診察の大部分を理論的に理解し、記憶し、診察が出来る	めまい、耳鳴、難聴、息切れ、発疹の診察の一部を理論的に理解し、大部分を記憶し、診察が出来る	めまい、耳鳴、難聴、息切れ、発疹の診察の理論的理解は不十分だが大部分を記憶し診察が出来る	めまい、耳鳴、難聴、息切れ、発疹の診察の理論的理解も記憶も不十分で診察が出来ない					
到達目標 C	動悸、食欲不振、肥満、胸痛、やせ、ショックの診察について理論的に理解し、記憶し、診察が出来る	動悸、食欲不振、肥満、胸痛、やせ、ショックの診察の大部分を理論的に理解し、記憶し、診察が出来る	動悸、食欲不振、肥満、胸痛、やせ、ショックの診察の一部を理論的に理解し、大部分を記憶し、診察が出来る	動悸、食欲不振、肥満、胸痛、やせ、ショックの診察の理論的理解は不十分だが大部分を記憶し診察が出来る	動悸、食欲不振、肥満、胸痛、やせ、ショックの診察の理論的理解も記憶も不十分で診察が出来ない					
到達目標 D	腹痛、便秘、下痢、排尿障害、乏・無尿、多尿、月経異常、不正性器出血の診察について理論的に理解し、記憶し、診察が出来る	腹痛、便秘、下痢、排尿障害、乏・無尿、多尿、月経異常、不正性器出血の診察の大部分を理論的に理解し、記憶し、診察が出来る	腹痛、便秘、下痢、排尿障害、乏・無尿、多尿、月経異常、不正性器出血の診察の一部を理論的に理解し、大部分を記憶し、診察が出来る	腹痛、便秘、下痢、排尿障害、乏・無尿、多尿、月経異常、不正性器出血の診察の理論的理解は不十分だが大部分を記憶し診察が出来る	腹痛、便秘、下痢、排尿障害、乏・無尿、多尿、月経異常、不正性器出血の診察の理論的理解も記憶も不十分で診察が出来ない					
到達目標 E	浮腫、意識障害、胸水、悪心・嘔吐、口渇、嘔声、嚥下障害、血痰・咯血、出血傾向、易感染性、貧血の診察について理論的に理解し、記憶し、診察が出来る	浮腫、意識障害、胸水、悪心・嘔吐、口渇、嘔声、嚥下障害、血痰・咯血、出血傾向、易感染性、貧血の診察の大部分を理論的に理解し、記憶し、診察が出来る	浮腫、意識障害、胸水、悪心・嘔吐、口渇、嘔声、嚥下障害、血痰・咯血、出血傾向、易感染性、貧血の診察の一部を理論的に理解し、大部分を記憶し、診察が出来る	浮腫、意識障害、胸水、悪心・嘔吐、口渇、嘔声、嚥下障害、血痰・咯血、出血傾向、易感染性、貧血の診察の理論的理解は不十分だが大部分を記憶し診察が出来る	浮腫、意識障害、胸水、悪心・嘔吐、口渇、嘔声、嚥下障害、血痰・咯血、出血傾向、易感染性、貧血の診察の理論的理解も記憶も不十分で診察が出来ない					
【教科書】 臨床医学総論 東洋療法学校協会編、自作プリント										
【参考資料】 臨床医学各論 東洋療法学校協会編										
【成績の評価方法・評価基準】 学期末定期テスト										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		診察学応用 4			年度	2026
英語表記		Applied Consultation and Examination 4			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	頭痛 2	牽引・炎症による頭痛、神経痛	1 牽引・炎症による頭痛	牽引・炎症による頭痛について理解する	1	
			2 神経痛	神経痛による頭痛について理解する		
			3 頭痛症例の確認	DVD映像を見て実際の頭痛症例を確認する		
2	顔面痛、歯痛、眼精疲労、鼻閉・鼻汁、発熱、のぼせ・冷え、不眠、疲労・倦怠	顔面痛、歯痛、眼精疲労、鼻閉・鼻汁、発熱、のぼせ・冷え、不眠、疲労・倦怠	1 顔面痛、歯痛、眼精疲労、鼻閉・鼻汁	顔面痛、歯痛、眼精疲労、鼻閉・鼻汁について理解する	1	
			2 発熱、のぼせ・冷え	発熱、のぼせ・冷えについて理解する		
			3 不眠、疲労・倦怠	不眠、疲労・倦怠について理解する		
3	めまい	めまい	1 平衡感覚と平衡感覚器	履修済みの平衡感覚と平衡感覚器を確認する	1	
			2 真性眩暈と仮性眩暈	真性眩暈と仮性眩暈について理解する		
			3 末梢性めまいと中枢性めまい	末梢性めまいと中枢性めまいについて理解する		
4	耳鳴、難聴	耳鳴、難聴	1 聴覚と聴覚器	履修済みの聴覚と聴覚器を確認する	1	
			2 耳鳴	耳鳴について理解する		
			3 難聴	難聴について理解する		
5	めまい・耳鳴・難聴のまとめ、咳・痰	めまい・耳鳴・難聴のまとめ、咳・痰	1 めまい・耳鳴・難聴の国家試験問題	めまい・耳鳴・難聴の国家試験問題レベルを確認する	1	
			2 咳	咳について理解する		
			3 痰	痰について理解する		
6	息切れ、発疹	息切れ、発疹	1 息切れ	息切れについて理解する	1	
			2 酸塩基平衡	履修済みの酸塩基平衡を確認する		
			3 発疹	発疹について理解する		
7	動悸	動悸	1 動悸	動悸について理解する	1	
			2 不整脈	動悸の原因となる不整脈について理解する		
8	食欲不振、肥満、胸痛	食欲不振、肥満、胸痛	1 食欲不振	食欲不振について理解する	1	
			2 肥満	肥満について理解する		
			3 胸痛	胸痛について理解する		
9	やせ、ショック	やせ、ショック	1 やせ	やせについて理解する	1	
			2 ショック	ショックについて理解する		
			3 ショックの国家試験問題	ショックの国家試験問題レベルを確認する		
10	腹痛、便秘	腹痛、便秘	1 腹痛	腹痛について理解する	1	
			2 排便の機序	履修済みの排便の機序を確認する		
			3 便秘	便秘について理解する		
11	下痢、排尿障害	下痢、排尿障害	1 下痢	下痢について理解する	1	
			2 排尿の機序	履修済みの排尿の機序を確認する		
			3 排尿障害	排尿障害について理解する		
12	乏・無尿、多尿、月経異常、不正性器出血	乏・無尿、多尿、月経異常、不正性器出血	1 乏・無尿	乏・無尿について理解する	1	
			2 多尿	多尿について理解する		
			3 月経異常、不正性器出血	月経異常、不正性器出血について理解する		
13	浮腫、意識障害	浮腫、意識障害	1 浮腫の機序	履修済みの浮腫の機序を確認する	1	
			2 浮腫	浮腫について理解する		
			3 意識障害	意識障害について理解する		
14	胸水、悪心・嘔吐、口渇、嘔声、嚥下障害、血痰・咯血、出血傾向、易感染性、貧血	胸水、悪心・嘔吐、口渇、嘔声、嚥下障害、血痰・咯血、出血傾向、易感染性、貧血	1 胸水、悪心・嘔吐	胸水、悪心・嘔吐について理解する	1	
			2 口渇、嘔声、嚥下障害、血痰・咯血	口渇、嘔声、嚥下障害、血痰・咯血について理解する		
			3 出血傾向、易感染性、貧血	出血傾向、易感染性、貧血について理解する		
15	国家試験要点確認、開業アドバイス	組合せ形式国家試験問題、開業アドバイス	1 国家試験要点確認	組合せ形式国家試験問題を用いて要点を確認する	2	
			2 開業アドバイス	実際に開業する際の注意点を確認する		

評価方法：1. 確認テスト、2. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等